

部会意見整理表

資料3

NO	委員名	意見	県の対応（案）	担当局	二次評価（案）
基本目標 1					
1	望月委員	p18「事業引継ぎ支援センターでの相談件数」について、県内各所で行っている事業承継のセミナーも含めていく等、工夫ができるのではないか。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。	産業労働局	概ね順調に進んでいます ・高齢者、女性、若年者及び障がい者の就業支援に、より一層取り組んでいく必要があります。 ・産業集積や成長産業の創出の促進が就業人口の増加に結びついているか分析した上で、取り組みを進める必要があります。 ・企業や学校などと協力し、中高生など若い世代に人工知能（AI）等ロボット技術に関する知識を広め、産業を支える人材の育成に取り組んでいく必要があります。
2	望月委員	「就業の促進」だけでなく、就業の「維持」を目指した在宅勤務の導入等について、民間へ働きかけるなどの取組みが必要。	二次評価（案）に反映しました。	産業労働局	
3	菊地委員	p19「高齢者、女性、若年者及び障がい者の就業支援」の取組みが少ない。	二次評価（案）に反映しました。	産業労働局	
4	菊地委員	就業支援について、深刻な人材不足と言われている保育や介護、看護の就業促進についても文言を加えると良い。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。	県民局 産業労働局	
5	菊地委員 石本委員	p20「安心して働ける労働環境の整備」について、保育や福祉、看護の労働環境改善に取り組んでほしい。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。	産業労働局	
6	大橋委員	p19「（6）就業の促進」の「外国人材の育成・活用と地域社会への受け入れ支援」については多くの記述があるが、p20「今後の課題と対応方向」の中に記述がない。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。	県民局 産業労働局	
7	平井委員	企業誘致の件数等のKPIが、結果として県の就業人口増加に結びついたのか、分析が必要。	二次評価（案）に反映しました。	産業労働局	
8	平井委員	ロボット産業特区を持つ強みを生かし、人工知能（AI）などロボット技術に関連する知識を、企業の協力も含めて、中高生の教育に取り込んでいく必要がある。	二次評価（案）に反映しました。	県民局 産業労働局 教育局	
基本目標 2					
9	秋山委員	p24「（1）神奈川ライフの展開による移住・定住の促進」について、移住促進のPR動画視聴者や移住相談した方のうち、どれくらい県外の方がいるのか、それが移住につながったのか、分析が必要。	二次評価（案）に反映しました。 また、ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。	政策局 産業労働局	概ね順調に進んでいます ・移住促進のPR動画や移住相談が実際の移住・定住につながっているのか分析した上で、継続的な支援を行っていく必要があります。 ・ZEH設置数の増加に向けたより一層の取組みが必要です。 ・外国人観光客誘致に向け、多言語による情報発信や魅力的な観光ルートの開発などの取組みを一層進めていく必要があります。 ・多くの県民にマグカルへの関心を持ってもらうため、効果的な手法でマグカルの取組みを広く発信する必要があります。
10	三崎委員	p26のKPI（ネットゼロエネルギーハウスの設置数）について、2019年目標値が2万件に対し2015年目標値が750件となっているが、今後3年で達成するには相当大幅な増加が必要である。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。	産業労働局	
11	蓑宮委員	外国人観光客の誘致に向け、TVや広告等、12ヶ国語でTV放送をしているベトナムのように、多言語による発信を行うと良い。	二次評価（案）に反映しました。	産業労働局	
12	蓑宮委員	宿泊先のホテルからヘリコプター等で遊覧を行うと、景色や地形など神奈川の良さを発揮できるイベントになるのではないか。	二次評価（案）に反映しました。	産業労働局	
13	関委員	神奈川県もポケモンGOを活用して観光客数を増やすような取組みをしてはかがか。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。	産業労働局	
14	秋山委員	マグカルについて、なぜうまくいかなかったのか、突き詰めた議論を行うべき。 マグカルは「神奈川 イベント」とインターネット検索してもヒットしない。ネットユーザーをターゲットにしているのに検索でヒットしないというのは手法に課題があると思われる。	二次評価（案）に反映しました。	県民局	

NO	委員名	意見	県の対応(案)	担当局	二次評価(案)
基本目標 3					
15	望月委員 平井委員	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、妊娠・出産支援を強化してほしい。	二次評価(案)に反映しました。	保健福祉局	概ね順調に進んでいます
16	平井委員	p39「結婚の希望をかなえる環境づくり」について、市町村と連携して展開することで効果が高まるのではないかと。	二次評価(案)に反映しました。	県民局	・多様な働き方の実現に向けて、在宅勤務の導入などをより一層促進していく必要があります。
17	平井委員	p45「事業所における男性の育児休業取得率」について、2019年度の目標を上方修正してでも、積極的に企業に働きかけて数値を上げていく努力をもっと重点化して取り組むべき。	二次評価(案)に反映しました。	県民局 産業労働局	・結婚・妊娠・出産を支える社会環境の整備に向け、市町村とも連携し、引き続き取組みを進めていく必要があります。
18	菊地委員	p45「男性が育児参加できる環境づくり」について、「イクボスを育成するための研修」参加企業3社は少ない。労働局等と連携してより多くの企業が参加するよう取組みを進めるべき。	二次評価(案)に反映しました。	県民局 産業労働局	・出産・子育てしやすい社会を実現するため、女性の再就職やキャリアの継続を支援するさらなる取組みが必要です。
19	桂委員	2人以上育てる環境整備という姿勢がもっと色濃いと良い。2人以上子育てすると女性側のキャリアが断絶することが多いため、女性の再就職をかなえる支援がもっとあって良い。	二次評価(案)に反映しました。	県民局 産業労働局	・男性の育児休業に関し、取得率の一層の向上や企業への普及啓発を図るため、さらなる取組みが必要です。
基本目標 4					
20	黒田委員	p47「県民ニーズ調査における『神奈川県に住み続けたい』と思う人の割合」の数値が下がっている一方で、各小柱の評価が「順調」「概ね順調」というのは結びつかない印象。二次評価で課題認識を示すべきではないかと。	二次評価(案)に反映しました。	政策局	概ね順調に進んでいます
21	秋山委員	p52、空き家総合相談窓口件数85件とあるが、この85件がその後どうなったのか、把握することが大切である。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。	県土整備局	・県民が自らの住むまちの魅力を実感し、神奈川県に住み続けたいと思えるよう、一層の取組みが必要です。
22	室田委員	空家相談窓口でどんな相談が行われたかや、空き家の件数がどう変化しているのかといった内容が大切である。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。	県土整備局	・市町村が定める空家等対策計画の作成支援と併せて、将来的な空家の増加を抑えるため、引き続きセミナーなどを通じて県民に対する情報提供・啓発を行うことが必要です。
23	三崎委員	現在空き家を所有する者を対象とした相談窓口だけでなく、家を所有されている方すべてに将来空き家にならないためのアドバイス・情報提供を行うとよいのではないかと。	二次評価(案)に反映しました。	県土整備局	
24	関委員	C C R C や福祉コミュニティづくりを担う人材育成について、評価(今後の課題と対応)を書き込んだほうが良い。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。	政策局 保健福祉局	
25	牛山委員	p54、KPIの「空家等対策計画を策定した市町村数(累計)」に2019年度目標値が設定されていないが、その理由を記載したほうがよい。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。	県土整備局	

NO	委員名	意見	県の対応（案）	担当局	二次評価（案）
共通					
26	複数委員	KPIの達成が数値目標の達成にどのように結びつくのか、そのプロセスや戦略を明確にすべき。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。	総合政策課 （全局）	
27	複数委員	・KPIを検証し、より適切なKPIを加えるべき。 ・2019年度目標値を達成したものは、目標値を上方修正すべき。	ご意見については進行管理等の課題として今後の参考とさせていただきます。		
28	複数委員	数値目標・KPIについて詳細な分析を評価報告書に記載すべき。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。		
29	望月委員	この地方創生は「産・学・金・労・言」という各民間の事業主体が入っているため、そうした各民間団体のサポートがどうあったかというようなことも記載したほうが良い。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。		
30	富田委員	未着手の取組みがある場合は、現時点での状況を明記したほうが良い。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。		
31	望月委員	実績・評価が次年度の交付金申請に結びつくように見える化できると良い。	ご意見については進行管理等の課題として今後の参考とさせていただきます。	総合政策課	
32	望月委員	KPIについて、2014年度実績があるものは記載したほうが良い。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。		
33	関委員	用語の説明を明記したほうが良い（KPI、社会増減、等）	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。		
34	関委員	グラフについて、軸目盛は統一したほうが良い。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。		
35	関委員	一次評価の評価基準を明記したほうが良い	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。		
36	関委員	交付金の金額・実績も記載したほうが良い。	ご意見については進行管理等の課題として今後の参考とさせていただきます。		
37	関委員	KPIが設置されていない具体的取組みについても評価を記載したほうが良い。	ご意見については進行管理等の課題として今後の参考とさせていただきます。		
38	牛山委員 他	目標値が設定されていないKPIについて（2016年～事業開始する等）、よりわかりやすい記載方法にすると良い。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。		